

〔二級講習用 製図編〕

奥付：初版から第二版で変更した箇所（平成30年4月）

頁	箇所	内容
10	図 13(6)	図中の『30.5min.』を『30.5min』に変更
14	上から2行目 (傍線部分を削除し、 網掛け部分のように 変更)	れ、穴の場合はアルファベットの大文字を使用するので、例えば $\phi 32H7$ と書けば許容限界が $32 \begin{matrix} \pm 0 \\ -0.025 \end{matrix}$ $32 \begin{matrix} +0.025 \\ 0 \end{matrix}$ の
24	図 22(1)	図中の『+』を削除 (変更後)
		(変更前)
	図 22(4)	図中の『LMS=最大実態寸法= $\phi 20.6\text{mm}$ 』を『LMS=最小実態寸法= $\phi 20.6\text{mm}$ 』に変更
26	上から6行目 (傍線部分を削除し、 網掛け部分のように 変更)	Rz は、粗さ曲線から一定の基準長さ $l$ を抜き取り、その中の最大値と最小値との差和を $\mu\text{m}$ 単位で表した